

グループ名	該当箇所	ご意見
防災・防犯・コミュニティ	将来ビジョンP14	町会加入率の減少の要因は、マンション建設による人口増加が主な要因で、それを除けば微減程度ではないか。このままでは担い手不足が進んでいく。
		入居者の入れ替わりが多いワンルームマンションの町会加入が大きな課題と認識している。
		町会加入を勧めても「メリットは何？」と問われると答えに苦慮する。
		高齢者や子育て世代はつながる機会を作れるが、その間の世代の町会加入を促す方法はないものか。
		マンション建築前の事前説明会での町会長の役割が重要。
		ワンルームマンションでも行事等を行い住民同士が繋がる取り組みを促してはどうか。
		マンションで「防災」をキーワードに炊き出しやお祭りを兼ねた行事や、こども向けの行事などを促してはどうか。また、大きいマンションであれば、顔見知りを増やすため居住者以外の人を呼び込むなど新たなコミュニティづくりもできるのではないか。
		未加入者に目に見える形でのPRが必要ではないか。
		マンション建築前の事前説明会で町会加入の重要性や会費の説明をしてはどうか。
		町会費を下げて入りやすくしてはどうか。
		こどもの頃から町会の必要性を教えていくべきではないか。
	街路灯、防犯カメラの設置等の防犯活動の取り組みなど、町会の有難さ（メリット）をPRすべきではないか。	
	将来ビジョンP15	特になし。
将来ビジョンP16	特になし。	
将来ビジョンP17	<p>区役所が指定している津波避難ビルは、高齢者等が避難するには遠い場合もある。例えば、近所の小さなマンションでも、町会単位で個別に交渉し、避難場所として確保できれば、効果があるのではないか。</p> <p>コロナ禍で不用となった地活協や振興町会の予算を防災関連予算に活用できないか。</p> <p>町会費の活用として、防災関連グッズの配布をすれば町会加入にもつながるのではないか。</p> <p>マンションの防犯カメラを地域が頼めば見せてもらえるようにできないか。</p>	
将来ビジョンP18	特になし。	

グループ名	該当箇所	ご意見
福祉・健康	将来ビジョンP19	特に異論なし。
	地域福祉ビジョン 【概要版】 施策展開の方向性	「見守り活動による地域のつながりづくり」について、町会や見守り活動で把握している人はある程度見守りが可能だが、それ以外の人の把握は困難。
		「見守り活動による地域のつながりづくり」について、ずっと仕事をしてきた人などは町会との関わりが希薄で把握できない。
		「相談が支援に結びつくつながりづくり」について、高齢者の方には区社協が出している「福祉だより」などが配布できれば情報が伝わりやすいのではないかと。
		「相談が支援に結びつくつながりづくり」について、相談支援先一覧のようなものが身近な場所（スーパー、医療機関、デイサービスなど）に紙媒体で設置されるほうがよい。
		「誰もが生き生きと暮らせるまちづくり」について、子育てイベントは年間計画などが示されている。高齢者のイベントもそのようなものがあればいい。
		「誰もが生き生きと暮らせるまちづくり」について、地域とのつながりが煩わしいからマンションに暮らしている人もいる。
		「誰もが生き生きと暮らせるまちづくり」について、自分の趣味があるので地域との関係づくりに興味のない人も多い。
		「誰もが生き生きと暮らせるまちづくり」「地域福祉活動、福祉人材の担い手づくり」について、『区長と歩こう会』を主催された『元気か〜い』という団体はどのような団体か。そのようなコミュニティがあることはどこで知ることができるのか。
		「地域福祉活動、福祉人材の担い手づくり」について、PTA活動からそれぞれの団体や活動に繋がっていくことが多く、コロナ禍で活動そのものがなくなるとつながりを持つことも難しくなっている。
「高齢者の地域生活を支えるつながりづくり」について、安井委員が普段の取組を通じて把握されていることがあればご意見を聞いてみたい。		
地域福祉ビジョン 【概要版】 その他	地域福祉ビジョンをより見てもらえるものとして【概要版】を広めることに賛同。	

グループ名	該当箇所	ご意見
教育・子育て	将来ビジョンP20	つどいの広場の整備を整えてほしい。
		つどいの広場や子育て支援サークルに自ら通える人はどのような手段でも通うが、一歩足を踏み込むことができない人は天候が悪いと足が遠のくことがある。雨天時は公共交通機関の割引券を渡して負担なく足を運べる環境を作ってあげてはどうか。
		つどいの広場や子育て支援サークルの方の負担にもなるが相談や開所日が平日昼が多いので、夜にしか行けない方の相談窓口などもあれば相談に悩んでいる人が参加できるかも。
		つどいの広場や子育て支援サークル（子育てサロン）を利用する人は大体同じ参加者であるので、実際に助けを必要としている人に支援が届いているかいつも気になっている。
		子育てサロンを運営しているが、コロナ以前から参加者が減少。月に1度の開催が参加しにくいのかなとも思う。地域の子育ての拠点に、は理解しているが、今後どのように展開していけばよいのか不安がある。
	その他	当グループは現に子育てしている年代の方（PTA等）が委員として参画していただきたい。
		検診日が平日昼である。土日や年に数回でも夕方や夜間検診日を設けると、いままで検診に来れなかった人も来る気持ちに変わるかもしれない。
		幼児検診は土日に実施できないか。
		0歳・1歳の検診のあり方について再考を大いにお願いしたい。雨の日のサポート、会館での検診実施、休日等に実施など。
		乳幼児健診への雨天時の「行き帰り」が大変との意見に同感。日時だけでなく場所も何パターンかあれば。住まいに近いところで検診があればとも。タクシー券支給案も良いと感じました。区内1カ所しかないのも・・・。

グループ名	該当箇所	ご意見
	将来ビジョンP22	区役所のホームページをいかに見やすくするか。
		区政の周知度の調査に男女別、年齢別、独身、所帯等の区分でアンケートに追加できないか。
		文化のつどい等で、ボードを設置しそこにシールを貼付して解答する形式のアンケートだと回答しやすい。
		アンケート結果についてはどこかで開示、フィードバックなどされているのでしょうか。
		紙ベースのアンケートにQRコードをつけて配布したらよいのでは。ネットで回答が便利。
総務・広報	将来ビジョンP23	区役所1階の窓口は案内誘導の方がいて判りやすい。3階保健福祉センターの窓口は、窓口業務の方が他の方の対応で手一杯だと、声をかけづらかったり、番号札を取っても呼ばれるのか不安に思う人もいる。
		高齢者向けにスマホ教室などを地域活（連合）や診療所、スマホクラブ（社協登録ボランティアグループ）などを活用して広めたらどうか。情報を欲しい人に届けたり、安否確認などの手立てになるのではないか。
		欲しい情報の受け取り方など分かりやすい説明が必要。
	将来ビジョンP24	高齢者のスマホ教育の推進に区役所も一助を担って欲しい。
		大阪でICTをまとめている部署があると聞いたが、そのシステムは西区民も共通して使用できるのか。